

# 石川県立白山青年の家及び石川県立白山ろく少年自然の家平成26年度管理状況

施設所管課	教育委員会生涯学習課
指定管理者	一般財団法人白山市地域振興公社 理事長 澤 信一
指定期間	平成26年4月1日～平成29年3月31日

## 1 管理業務の実施状況

業務内容 (協定・条例に規定)	具体的な業務の実施状況
使用する者への利便の提供に関する業務	<p>施設の使用受付、案内等の接遇向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・職員接遇研修会の実施</li> </ul> <p>職員の資質向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・石川県青少年教育施設協議会資質向上研修会の受講</li> </ul> <p>利用者の苦情・意見の把握・対応</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用団体アンケートの実施（203通）</li> <li>・利用者ニーズの反映（厨房食器洗浄機を設置）</li> <li>・利用者のよくある質問と回答をホームページに掲載</li> </ul>
利用の促進に関する業務	<p>自主事業等の企画・実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・白山青年の家：地域交流事業「さとやまサロン」の実施（8回/195名参加）</li> <li>・白山ろく少年自然の家：「白山ジオツアーズ」を実施（4回/56名参加）、受入団体への出前講座の実施（54団体/3,992名受講）</li> </ul> <p>施設の情報提供、広報、広告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ホームページの内容の充実</li> <li>・白山市の広報や地域の情報誌にイベント情報を継続的に掲載</li> <li>・白山青年の家：地域の公民館や女性団体、老人会等への働きかけの強化（平日利用者の掘り起こし）</li> <li>・白山ろく少年自然の家：近郊の少年スポーツ団体や公民館等へのPRの強化</li> </ul> <p>体験活動プログラムの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・子ども自然学校の開催（37プログラム/1,518名参加）</li> </ul>
使用の許可に関する業務	<p>使用許可、使用料の徴収、納入</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・使用許可の件数（2（2）参照）</li> <li>・使用料の収入実績（2（3）参照）</li> </ul>
施設、設備及び備品の維持管理及び修繕に関する業務	<p>清掃業務</p> <p>設備保守点検</p> <p>防火管理</p> <p>小規模修繕</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・白山青年の家（構内道路舗装、事務室エアコン修繕等）</li> <li>・白山ろく少年自然の家（電気温水器取替、厨房設備修繕等）</li> </ul>

(その他知事が必要と認める業務)	緊急時の対応・安全管理などの危機管理 ・ 緊急時の職員連絡体制・配置体制、危機管理マニュアルの見直し・作成、避難訓練の実施 個人情報の管理状況 ・ 職員全員に周知し、適正に管理
------------------	---

## 2 施設の利用状況

### (1) 利用指標

指標	H 2 5 年度 (参考)	H 2 6 年度	前年度比	増減理由
白山青年の家 総利用者数 (人)	21, 939	22, 923	104. 5%	利用団体の増加による
白山ろく少年自然の家利用者数(人)	18, 398	18, 930	102. 9%	

### (2) 使用許可等の状況

	許可件数	不許可件数	不許可理由
白山青年の家	277	0	
白山ろく少年自然の家	197	0	

### (3) 使用料の収入実績

#### 利用料金の収入及び減免の状況

施設名		収入額	減免額	減免理由
白山青年の家	宿泊料	5, 129千円	—	
	食事料	14, 551千円	—	
	冷暖房料	691千円	—	
白山ろく少年自然の家	食事料	14, 116千円	—	
	寝具料	1, 524千円	—	
	暖房料	233千円	—	
	スキー用具料	328千円	—	

## (4) 収支決算

(千円)

	収入		支出	
白山青年の家	管理料	35,000	人件費	23,836
	利用料収入	20,371	光熱水費	7,270
	その他	4,048	修繕費	2,428
			設備保守	2,386
			食材費	12,154
			その他	12,286
	小計	59,419	小計	60,360
白山ろく少年自然の家	管理料	32,695	人件費	27,639
	利用料収入	16,201	光熱水費	5,067
	その他	3,501	修繕費	424
			設備保守	1,432
			食材費	9,784
			その他	10,584
	小計	52,397	小計	54,930
合計	111,816	合計	115,290	
収支差額	△3,474			

※2施設あわせて指定しているため、管理料は合算して支払っている。

## (5) 中期経営目標の進捗状況

白山青年の家 中期経営目標（実施期間 H26～H28）

- ① 利用者数を3年間で5%増加させます。
- ② 利用者アンケートによる満足度は、引き続き95%以上を維持します。

白山ろく少年自然の家 中期経営目標（実施期間 H26～H28）

- ① 利用者数を3年間で5%増加させます。
- ② 利用者アンケートによる満足度は、引き続き95%以上を維持します。

## ① 中期経営目標の進捗状況

測定指標		H24 実績値	H25 実績値	H26 実績値	目標値 (H28)
白山青年の家	①利用者数(人)	21,908※	21,939	22,923	23,000
	②利用者アンケートによる満足度				
	利用者サービス(%)	100%	100%	100%	95%以上
	施設の維持管理(%)	98.8%	98.9%	98.9%	95%以上
白山ろく少年自然の家	①利用者数(人)	17,990※	18,398	18,930	18,900
	②利用者アンケートによる満足度				
	利用者サービス(%)	100%	95.9%	100%	95%以上
	施設の維持管理(%)	98.3%	93.9%	100%	95%以上

※過去5年間における利用者数のばらつきが大きいいため、実績値をH20～24の平均とした

② 平成27年度における取組内容の見直し等

白山青年の家

- ・ エコバッグづくりや白山草木染めなど、新たな体験プログラムを開発し、体験プログラムの利用方法の弾力的な運用に努める。
- ・ 県内小中高校や各種団体を訪問し施設の魅力をPRするとともに、白山市広報、地域情報誌等にイベント情報を掲載するなど、広報の充実に努める。
- ・ 地域の人材や教育力を事業に生かす（公社自主事業の里山サロン）。

白山ろく少年自然の家

- ・ 手取川流域や白山ろく全体のフィールドを調査し、魅力的なプログラムの開発に努める。（例：受入団体向けに白峰恐竜パークと連携した化石学習を開始する）
- ・ 利用者の増加に向けて総合的な広報活動を強化する。特に、スポーツ合宿等での利用を念頭に、近郊中学校を訪問し施設の魅力をPRするほか、小集団の日帰り利用促進も強化する。

(6) その他、県が必要と認める事項（管理の実態を把握するために必要な事項）

① 利用者の意見等

ア 利用者アンケート結果（通年実施 有効回答数203件）

施設名	項目	回答			
		良い	概ね良い	やや悪い	悪い
白山青年の家	利用者サービス	67.0%	33.0%	0%	0%
	施設の維持管理	69.9%	29.0%	1.1%	0%
白山ろく少年自然の家	利用者サービス	68.5%	31.5%	0%	0%
	施設の維持管理	37.4%	62.6%	0%	0%

イ 利用者からの意見、苦情、要望

施設名	年月	内容	対応
白山青年の家	平成26年8月	起床時間を早くして、消灯時間を遅くしてほしい。入浴時間も延長してほしい。	貸切の場合や特別支援学校の合宿等では変更することがあるものの、複数の一般団体が利用した場合、青少年施設であることから、最低8時間の睡眠を確保できるスケジュールの提出をお願いしており、時間を厳守してもらえよう、打ち合わせ等でお願いしている。
	平成26年12月	野外炊飯場や創作実習室で持ち込み食材を調理したい。	食中毒防止のため、原則として調理材の持ち込みはお断りしている。ただし、缶詰や、乾燥食品、アイスなど既製品は衛生管理を徹底したうえで持ち込みしても良い旨、打ち合わせ等で伝えている。

白山ろく少年自然の家	平成26年6月	施設は古いが綺麗に管理されており、気持ちよく利用できました。	今後とも行き届いた管理を行いたい。
	平成26年9月	陶板焼きの量が少し多い。朝食も炭水化物の量が多い。	量やメニュー、盛り付けの改善を図った。

② 事故、故障等

施設名	年月	内容	対応
白山青年の家	平成26年9月	構内道路舗装	補修
	平成27年2月	1階事務室系統エアコン修繕	修繕
白山ろく少年自然の家	平成26年9月	厨房食洗機を設置	電源工事を実施
	平成26年12月	電気温水器故障	取替

③ その他報告事項など

特になし
------

## (7) 評価結果

評価項目	結果	所見（工夫、改善点）
①サービスの維持・向上や利用促進に向けた取り組みが行われているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者アンケート調査を行い、利用者の声を運営に活かすよう努めている。</li> <li>・周辺施設との連携を進めることで、プログラムの充実を図っている。</li> <li>・近隣の学校訪問、広報誌への掲載など施設利用PRを積極的に行っている。</li> </ul>
②施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の修繕等に適切に対応している。（構内道路舗装、厨房修繕、樹木剪定、食洗機設置など）</li> <li>・施設内は常に清潔に保たれており、作品掲示や学習コーナーを工夫するなどよりよい学習環境作りに努めている。</li> </ul>
③適切に管理運営・危機管理を行う組織・体制となっているか。	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・適切な職員の配置がなされている。（繁忙期における職員補充など）</li> <li>・緊急時の対応計画や連絡体制等が定められ、安全対策が適切である。</li> <li>・個人情報保護が積極的に行われている</li> </ul>
総合評価	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仕様書等に基づく適切な管理運営を行うとともに、利用者が快適に過ごすための環境作りや利用促進に向けた取り組みに積極的に取り組んでいる。</li> </ul>

### ○ 評価基準

- A（優）：仕様書等に定める水準を大いに上回っており、その結果、優れた実績をあげている
- B（良）：仕様書等に定める水準を上回っている
- C（可）：概ね仕様書等に定める水準どおり実施されている
- D（不可）：仕様書等に定める水準を下回っており、改善を要する部分がある

### ○ 総合評価

- A（優）：優れた管理運営がなされており、かつ、十分な実績をあげている
- B（良）：優れた管理運営がなされている
- C（可）：適正な管理運営がなされている
- D（不可）：改善が必要である

## (8) 助言・指摘事項

閑散期（特に秋・春先）の利用促進に向けたプログラム開発とさらなるPR